

第 65 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2016 年 9 月 30 日（金） 15:00～17:00
2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室
3. 出席者（役職順/所属順、敬称略）
（日高 邦彦）議長、（石川 孝重）副議長、（真木 康守）幹事、（石橋 邦夫）幹事、
（札野 順）幹事、（丸山 信）委員、（夏 恒）委員、（本間 重一）委員、
（橋本 義平）委員、（中野 智仁）委員、（吉開 範章）委員、
（山本 一彦）事務局、（木暮 賢司）事務局

4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②2016 年度公開シンポジウムについて（審議）
- ③次回第 66 回以降協議会日程について（再確認および決定）
- ④会員活動報告について（報告）

5. 議事

①前回議事録案の確認と審議

議事内容の確認、審議を行い、原案は承認された。

②2016 年度公開シンポジウムについての審議

・プログラム、募集案内の最終確認、審議を行い、最終版を決定した。日本工学会HPへ掲載すると共に、各学協会、関係機関へも募集案内を送付することとした。

③次回第 66 回以降協議会日程についての審議

・次回、第 66 回協議会 11 月 8 日（火） 15:00～17:00 森戸記念会館第二会議室

④会員活動報告についての報告

・以下の表の記載内容に基づき各学協会から報告があった。

	学協会名	報告概要
1	電気学会	1) 8/23、第 9 回技術者倫理研修会を開催。テーマは【 <u>技術者倫理とコミュニケーション<コミュニケーションとは何かを考える></u> 】とした。 ① 榎本晃章氏（日本動力協会会長） 「科学技術と社会(コミュニケーションについて考える)」 ② 唐木英明氏（食の安全・安心財団理事長） 「人は何を根拠に判断するのか」 ③ 平川秀幸氏（大阪大学教授）

		<p>「コミュニケーションのすれ違いをどう理解するか」</p> <p>④ パネル討論</p> <p>2)9/21、第37回倫理委員会を開催。主に2017年3月の電気学会全国大会における倫理委員会公開シンポジウムについて議論した。テーマとして、自動運転技術が社会に普及するための課題等を検討することとした。</p> <p>3)上記、委員会後、定例の講演会を開催した。 講師：日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット 主管技師長 浅野 克彦 氏 「粒子線治療装置～日立製作所の取り組みを中心として～</p>
2	電子情報通信学会	<p>1) 7/14、7/15に、技術と社会・倫理研究会を、山口大学にて開催し、5件の発表&討論を行った。</p> <p>2) 7/26 事例集小委員会を日本大学において開催し、事例集案の具体化を審議した。</p> <p>3)9/21 北海道大学で開催されたソサエティ大会において、技術と社会・倫理に関するセッションを開き、2件の発表&討論を実施した。</p>
3	土木学会	・特に今回報告はなし
4	日本化学会	・特になし
5	日本機械学会	<p>1) 2016年度日本機械学会年次大会 市民フォーラム「デザインと倫理」開催 日時： 2016年9月12日（月） 場所： 九州大学伊都キャンパス 講演題目： ① インクルーシブデザインと倫理（九州大学・平井康之） ②技術者倫理教育のためのインターンシップ・プログラム（北九州市立大学・辻井洋行） ③時代に合った適正技術とは～私の失敗事例から～（日本ポリグル・小田兼利） ④デザイン フォー ウェルビーイング（東京工業大学・札野順一）</p> <p>2) 日本機械学会倫理規定の英文化の検討</p>
6	日本技術士会	<p>1)倫理委員会を8/18に開催し、小委員会からの活動報告等を受け、以下の事項等を検討・審議。 ①啓発小委員会：来年5月に学士会館で開催予定の「第9回技術者倫理シンポジウム」のテーマ案・講演案を検討。 ②綱領小委員会：最近の不祥事例の検討状況、及びISO9001に「リスク管理」等が追加になっている経緯を踏まえ、「技術士倫理綱領」にこれらに関連する文言を反映した追加綱領案の内容・追加是非を検討。 ③情報小委員会：技術士全国大会（於 横浜市）で11/13（日）開催の「技術者倫理ワークショップ」（活動報告、講演会）の実施</p>

		<p>計画・要領等を確認。併せて、HPに掲載の技術者倫理関係図書の整理状況、HPの改善・変更案の内容等を確認。</p> <p>2)「倫理教育検討WG」は、以下の事項を検討。</p> <p>日工教・技術者倫理調査研究委員会のモジュール型シラバスを参考に、主に技術士が講師を務める技術者倫理講座の教材について、講義形式や最低限講義に盛り込むべき項目、講義で重点を置くべき事項等を検討。</p> <p>3)月刊「技術士」のシリーズ企画記事</p> <p>①「技術者倫理啓発活動」シリーズ(2015/8月号～2016/8月号)として、統括本部・8地域本部の活動を掲載。このシリーズは、8月号で終了。</p> <p>②新たなシリーズ記事は、日工教・技術者倫理調査研究委員会のご協力を得て、「新たな技術者倫理教育に向けて」を2016/10月号から4回掲載の予定。</p>
7	日本原子力学会	<p>1)7/4,9/28に委員会を開催。</p> <p>2)9/9に秋の大会(@久留米)にて企画セッション「原子力の専門家としての使命と社会との係わり方—福島事故を振り返り、改めて研究者・技術者としての倫理について考える—」と題して、「非常事態とその後の福島原発事故対応：一原子力専門家の反省(長崎大：山下俊一)」の講演から、専門職はどうあるべきか、専門職の強い使命感を支えたものは何かについて考究した。</p> <p>3)倫理規程定期見直しの検討開始(前回改訂2014/5)</p>
8	日本建築学会	<p>1)2016年度中に、教育機関および企業・研究機関を対象に倫理教育・教材に関する実態調査を実施する。</p> <p>2)倫理委員会において、技術者倫理教育・教材に関するアンケートを検討。</p>
9	日本工学教育協会	<p>1)第64回年次大会にてオーガナイズドセッション「技術者の倫理的問題解決のためのコミュニケーション」開催,9/6午後@大阪大学,一般講演7,基調講演2,パネルディスカッション。</p> <p>2)日本粉体工業技術協会「粉体技術」誌9月「技術者・研究者の倫理」特集に「研究者倫理対応の現状」を安居委員@室蘭工大が寄稿。</p> <p>3)技術者倫理教育の学習・教育目標2016(日本語)はモジュール型モデルシラバス解説とともに「工学教育」9月号に掲載される。並行して英訳作業中。</p> <p>4)The World Engineering Education Forum & The Global Engineering Deans Council 2016(WEEF & GEDC)にてセッション実施「Engineering Ethics Education in a Globalized World」,11/6-10@ソウルCOEX</p> <p>5)月刊技術士の技術者倫理教育シリーズ「新たな技術者倫理</p>

		<p>教育に向けて」へ4回連載寄稿中（10月号から）.</p> <p>6) 2月に平成28年度研究倫理WSならびに第17回技術者倫理WS開催予定. @東工大大岡山校舎</p>
10	日本非破壊検査協会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動していません。
11	日本マリンエンジニアリング学会	<p>1) JIME CPD 講習会において、「機関係・電気系」コース別に「技術者倫理」（いずれも1コマ）の講義をした（平成28年8月25日、三宮研修センター）。</p>